

トビイロウンカの初飛来を確認

岡山県病害虫防除所の予察灯調査（赤磐市）において、**8月17日にトビイロウンカ雌成虫1頭の飛来が確認されました。**なお、これまで県内での増殖は確認されていません。

中生品種及び晩生品種の栽培圃場で本虫の発生が多い場合、坪枯れ等の被害が発生する可能性があります。広島地方気象台発表の季節予報によると、8月19日以降の気象条件は本虫の増殖を助長する条件ではありませんが、今後の発生状況に注意してください。

＜防除対策＞

- (1) 要防除水準（成幼虫合計で株当たり10頭以上又は短翅型雌成虫で株当たり0.2頭以上）を超える圃場では、直ちに防除を実施する。なお、本虫は圃場内で局所的に生息し株元を好むため、調査に当たっては圃場内の複数か所で株元をよく観察する。
- (2) 農薬の使用に当たっては農薬使用基準を厳守し、表の単剤あるいはその成分を含む混合剤を安全・適正に使用する。また、散布に当たっては薬剤が株元まで十分到達するよう留意する。
- (3) 収穫期に近いため、薬剤散布は農薬使用基準の収穫前日数をよく確認して行う。

表 水稲におけるトビイロウンカの主な防除薬剤（令和3年8月19日現在）

薬剤名	農薬使用基準			IRACコード
	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用濃度・使用量	
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	収穫14日前まで 収穫14日前まで	2回以内	1,000～2,000倍 3～4kg/10a	2B
トレボンEW ¹⁾ トレボン乳剤 ¹⁾ なげこみトレボン ¹⁾	収穫14日前まで 収穫14日前まで 5葉期以降～ 収穫21日前まで	3回以内	1,000倍 1,000～2,000倍 水溶性容器10個 (500ml)/10a	3A
トレボン粉剤DL ¹⁾ トレボン粒剤 ¹⁾	収穫7日前まで 収穫21日前まで		3～4kg/10a 2～3kg/10a	
MR. ジョーカー EW ¹⁾ MR. ジョーカー粉剤DL ¹⁾	収穫14日前まで 収穫7日前まで	2回以内	2,000倍 3～4kg/10a	
スタークル・アルバリン粉剤DL スタークル・アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ スタークル・アルバリン粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3kg/10a 3,000倍 250～500g/10a 3kg/10a	4A
ダントツ粉剤DL ダントツ水溶剤 ダントツ粒剤	収穫7日前まで 収穫7日前まで 収穫7日前まで	3回以内	3～4kg/10a 4,000倍 3kg/10a	
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	2,000倍	4C
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	1,000倍	4F

¹⁾ の薬剤は水産動植物に対する危害が発生しやすい地域および発生するおそれのある地域では使用しない。

農薬の容器のラベルをよく読み、各単剤の有効成分を含む農薬の総使用回数を守る。